

Chapter 1

AKB × intel × 冷蔵庫



どうして？

Section

1

大学に通う人たち。多くの人は学生だから企業で働いてはいないけど、企業が提供するサービスを利用したり、企業が造った製品を買ったりしているだろう。例えば、音楽提供サービスを利用したり、ノートパソコンを購入したり。

このように企業が提供するサービスや企業が造る製品は身の回りに沢山あるが、よく考えてみると、不思議なことや上手く説明できないことがあるのではないだろうか。ここで三つほど例を挙げてみよう。

会に行けるアイドル：AKB48

女性のアイドルグループにはモーニング娘などがあるけど、最近はAKB48とその姉妹グループの人气が抜群。AKB48の基本コンセプトは「会に行けるアイドル」。

基本コンセプトが人気の秘密の一つだろうが、どうして、モーニング娘は会に行くことができなかったのだろうか。どうして、AKB48は会に行くことができるのだろうか。



図 1 女性アイドルグループ

ノート PC に intel の青いシール

家電量販店のパソコンコーナーに行くと、パナソニックのレッツノート、レノボ(lenovo)の Think Pad、エイスース (ASUS) の ZenBook など、多くのノートパソコンが売られている。よく見ると、どのノートパソコンにも「Intel」の青いシールが貼られている。なんとなく、重要な部品の一つがインテル製なのだろうということは解る。

よく考えてみると、パナソニックは日本企業、レノボは中国企業、エイスースは台湾企業、国は様々なのに、どうして米国企業であるインテルの部品を使っているのだろうか。

そもそも、モノ造り大国と言われる日本なのだから、パソコンの部品についても日本企業が優れた製品を造っているのではないだろうか。どうして日本製の部品を使わずに、インテルの部品を使っているのだろうか。そういえば、韓国にはサムソンという電機メーカーがあるけど、ノートパソコンには関係ないのだろうか。



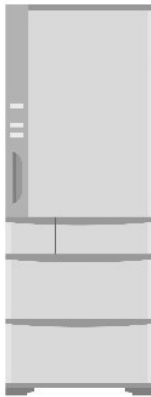
図 2 インテルの青いシール

米国企業の冷蔵庫

飲み物を冷やしたり、氷を造ったり、冷凍食品を保冷したり、野菜の鮮度を保ったり。どこの家庭にもある冷蔵庫。上部が両開きドアで、下部は引き出し式のドア、合計で3枚~6枚のドアがあり、その中の一つは氷専用であったりして機能的で便利である。家電量販店に行くと、日立やパナソニックなどの日本企業の冷蔵庫が並んでいる。多くの冷蔵庫は、省エネ性能が優れていることが宣伝されている。最近では中国企業の冷蔵庫も売られているが、概ね日本企業が造った冷蔵庫と形が似ている。

ところが、米国やカナダなどの北米に行くと、使われている冷蔵庫のドアは2枚。冷蔵庫用に1枚、冷凍庫用に1枚。日本のようなドアが3枚~6枚の冷蔵庫は殆ど使われていないし、家電量販店に行っても売られていない。どうしてだろう。

造っているのが、米国企業であるワールプール(whirlpool)やゼネラルエレクトリック(GE)だから、ドアが2枚なのだろうか。そもそも、日本企業は欧米で冷蔵庫を売っていないのだろうか。日本企業の家電製品は品質が優れ、価格も安いはずなのに。



日本企業の5ドア冷蔵庫



米国企業の2ドア冷蔵庫

図 3 日米の冷凍冷蔵庫

答えは標準化

Section

2

AKB48 とノートパソコン、冷蔵庫、三つの事例の「どうして」という疑問に対し、答えを与えてくれるのが「標準化」である。

コンサートに必要なもの

AKB48 は、コンサートに必要なものを標準化し「互換性」という効果を上手に利用している。だから、東京の秋葉原にある AKB 劇場でコンサートを連日開催しながら、福岡や大阪、札幌などで地方公演もできるし、テレビ出演もできるし、メンバー一人ひとりがお休みを取れるのである。こうして、会いに行けるアイドルというコンセプトを実現している。

ノートパソコンの構造

インテルは、パソコンやノートパソコンの構造を標準化した。そして、「市場拡大」と「価格競争」という効果を利用してノートパソコンの基幹部品の独占を実現した。したがって、パナソニックもレノボも、ノートパソコンの重要な部品についてインテルの製品を使わざるを得ない状況に置かれている。

省エネ性能の測り方

冷蔵庫は、省エネ性能の測り方が標準化されている。日本において標準化された測り方に従うと、日本の冷蔵庫に比べ、米国の冷蔵庫の省エネ性能は劣っている。ところが、測り方には国際標準があり、日本の測り方とは異なっている。国際標準の測り方に従うと、米国の冷蔵庫の性能は優れていることになる。標準化には「差別化を際立たせる」という効果がある。冷蔵庫を造っている米国企業は、この効果を上手に活用している。

難しくはない

Section

3

標準というと、技術標準や標準規格という言葉を出す人もいるだろう。新聞記事には「次世代の通信規格は、通信速度を上げるために 800MHz～1GHz の周波数帯の幅が必要である」とか、なんだか難しい技術用語が並ぶ。

言語(ことば)も標準

一方で、標準語という言葉聞いたことがあるだろう。文の終わりに『。』を付けるとか、「すいとう」とは水を持ち運ぶための容器である「水筒」のことを意味し、「好きです」という意味ではない(博多弁では「好き」あるいは「愛している」ことを「すいとう」と言う)。

日常的に使っている標準語も、言葉を標準化したものである。

事例を選べば理解は簡単

このように、標準は科学技術的な面ばかりでなく、言語技術や法技術が関係する場合も多い。そして、大きな視点から見れば、標準は「取り決め」だから、規則や規制、慣例などのルールとも言える。

したがって、科学技術的な要素が含まれない事例を基に説明さえすれば、商学部や経営学部、経済学部の学生だけでなく、外国語学部や文学部、法学部などの学生でも簡単に理解できるはずである。標準化はそんなに難しい学問分野ではない。

次頁から理解しやすい事例を交えながら、標準をやさしく解説していこう。